



しあわせのバケツ

令和8年6月9日 6月全校朝会



みなさんに、ぜひ聞いてほしい話、ぜひ大切にしてほしい話として、
「しあわせのバケツ」という絵本を紹介しします。

話の内容をまとめると



世界中の
だれもが持っている
「しあわせのバケツ」

見えないけれど
みんなが持っている
なぜ「しあわせのバケツ」を
持っているのか？

それは、
よい心やよい気持ちを
入れておくため

バケツがいっぱいになると
とても幸せな気持ちになれる

でも、空っぽになると
悲しくて、さびしくなる

どうすれば
バケツをいっぱいに
できるのか？

だれかに
親切にしてあげたり、
ほほえみかけたり
したときに

「しあわせのバケツ」は
いっぱいになります

バケツを幸せで
いっぱいにする人は

優しい言葉が言えて
よい行いができる
心優しい人

反対に
だれかを
いやな気持ちにさせたり
バカにしたり

いじわるなことをしたり
悪口を言ったり
無視したりすることは

相手を傷つけて
相手のバケツを
空っぽにしている

相手のバケツを
空っぽにする人は
自分のバケツも
空っぽになってしまう

反対に、相手のバケツを
幸せでいっぱいになると
自分のバケツも
幸せでいっぱいになる

人を幸せにすると
自分も幸せになれる

というお話です。

「しあわせのバケツ」は、よい心やよい気持ち、温かい気持ちを入れておくのです。
バケツの中を見てみると、こんな言葉が入っています。



ありがとう たすかったよ あなたのおかげです

がんばれ だいじょうぶ 心配いらないよ

おめでとう すごいね がんばったね いっしょにあそぼう



こんな言葉で自分のバケツがいっぱいになると、とっても幸せな気持ちになりますね。

みんながバケツを 幸せでいっぱいにしていれば、家も学校も、町もすべて楽しい場所になるよ
バケツをいっぱいになるとみんなが幸せになれるんだよ